

# 『紡ぐ』

2021.5.15 第23号  
発行 教育相談室「あした塾」



高知県・埼玉県  
から手紙が...

先頃、高知県の三好朝男さんから手紙が届きました。おたく、つむぐの存在を知らなかったことが何事かと思われました。なんと、「しんぶん『紡ぐ』」の記事を見ただけなのです。北陸中日新聞の記事が共同通信にのり、全国配信の記事になりました。四国の高知新聞が取り上げ、それを三好さんが目にしたということでした。

三好さんは「土佐一人新聞」(預)という新聞を50歳のときから28年間も発行していた。驚きです。A3裏表だけの新聞です。今後新聞の交換をすることになりました。おれ、少し遅れて、埼玉県の藤田嘉信さんから手紙が届きました。二の方もおたくの存在を知らなかった。日経新聞で『紡ぐ』の記事を見たということでした。「日経新聞で『紡ぐ』の存在を知り、感動しました。自分も新聞づくりをしたいと思います。」とありました。嬉しいことです。希望にのって『紡ぐ』を送りました。さらに、愛知県在住の穴水町出身の方が、やはり日経新聞の記事を見て「穴水の記事だった。懐かし。嬉しかった」と穴水の家族に新聞の写真つきメールをくれたそうです。(家族おれ)「しんぶん『紡ぐ』」が、いろいろお人たあのかかることした。とても嬉しいことです。(タキトキ)



**投稿** 梶 望 不正武  
南北に長い石川県  
幸せ特色の風景が  
今日も紙面に  
紅に染まりたさかな  
白猫が  
ノキリシマの下に  
うずくまる



## 山本議員 活動報告発行

5月2日、山本祐孝議員が、この一年間の議員活動報告第1号を発行した。市民の信託を得た議員として必要な活動です。大田議員のときにも記しましたが、活動が見えるようにすることは、政治の信頼にとって重要なことです。今後多くの議員の皆さんの投稿を期待しています。「紡ぐ」上で紹介してお。



# マイス (一) も (一) に フォラス

氷町の現状、ちよと「一」要素が多いですね。「一」は足し算すれば「一」が増えるだけ。でも「一」×「一」は「十」になります。「一」を逆手に取れば「十」に転じることできるかも。新しい発想。新しい挑戦。どうぞせんけね〜。

## 投稿 「紡ぐ」が「続」くはに 輪島市 信楽寺 藤井秀信

先日の老人会総会の際はお世話ありがとうございました。久しぶりに皆様にお会いできて大変嬉しいことでした。そして、皆様が日頃読まれておられる「しんぶん『紡ぐ』」も大変面白く読ませていただきました。皆様は、二枚に素晴らしい「しんぶん」を手にするにできておられるのですね。発行されておられる方のご苦労はいかばかりかと察することです。私も教員時代、学級通信を発行したことがありましたが、読んでくださり、いろいろ声をかけてくださることによって元気をもらって続けてきたように思います。どうや、皆様も「しんぶん『紡ぐ』」が、どうや、どうや長く続けられますように、読まれた感想などを届けていただきたいと思います。



私も氷の学校に10年ほどお世話になったので、「紡ぐ」のどの号も懐かしげに見せていただきました。私も、発行者の方にお願ひに届けてもらうかと思っていますので、

こちらでは皆様と一緒に楽しませていただこうと思っています。私もできるだけ応援したいと思っています。「紡ぐ」が「続」くように協力しますね。

合掌。



中居駅の今  
桜の季節はすぎ  
です。周囲の田園  
風景がのびやかです。

比良駅は  
今、私有地にな  
っています。廃線  
利用のミタケ  
栽培が...



鹿波駅は  
ちよと桜の木が  
多いのでした。

甲駅 前号  
で紹介してお  
いた、ホームの  
屋根は線路と



前波駅も  
いつか残ってい  
ます。これも桜が  
きれいです。

古君駅は  
ちよと荒れが  
多いので、ここ  
は、ここ、  
売りに出ている



その他、夏だけ立戸/沢駅が  
ありました。